

令和4年度 第1回 新入生保護者説明会資料

令和3年9月11日

校長 大澤 秀吉

令和3年度 練馬区立関中学校 学校経営計画

1 はじめに

学校が存在するためには、「校地・校舎」「教職員」「生徒」がそろわなければ学校ではない。

「地域から学校を借りて教育に当たっている。学校は、生徒のためにある。」という大前提を踏まえ、生徒を第一に考えた学校運営や教育活動を展開していくことが重要である。

地域の学校として地域・保護者・生徒からの期待に応えるため、全教職員が教育への情熱と英知を結集して協働し、関中学校の令和3年度の教育を創造・充実していきたい。

関中学校は、歴史と伝統ある学校として、地域・保護者・生徒から信頼される学校でなければならない。

2 学校経営方針の根幹

大人や教師の Kategorie にあてはめ生徒を一般化することなく、生徒一人一人をしっかりとらえ、個々の生徒の課題解決に向けた指導および支援を教職員一丸となり進めていく。

- (1) 生徒一人一人の違いを大切にした人権尊重をふまえた教育を展開し、生徒の命を第一とした教育を展開する。
- (2) 公立中学校は、「地域の中にあり、地域とともにあり、地域に支えられながら存在する学校」である。地域と連携し、ともにある学校を目指し学校経営を行う。
- (3) 教職員一人一人が専門分野・分掌での役割・学年での役割・地域連携などを意識して活動し、自己の能力を高め成長し続ける。
- (4) 未来を担う生徒に「目標設定→計画→実行→途中結果→振り返り（変更・継続）→結果」の過程を教師の指導・支援のもと身に付けさせ「どこでも、やっていけるたくましい生徒」を育成する。
- (5) 解決志向・実践志向の積極的な学校運営を行う。
「やればできる」「もっとうまくできる」と考える教師たちの姿勢。
- (6) 生徒が未来へ向けた「より良い判断」「より良い思考」をするための基礎学力を保障する。
- (7) 「学校における働き方改革推進プラン」に基づき「週当たりの在校時間が60時間を越える教員をゼロにする」を当面の目標とするとともに、年次有給休暇の積極的な取得を促す。
- (8) 校務用の文章は、例年通りではなく、だれが見ても要点がすぐつかめる形のものを作成する。
- (9) 災害、非常時、様々な事故にしっかり対応できるマニュアル作成し研修等を通じて共有することで、危機意識を念頭に置いた学校運営を行う。
- (10) 服務事故（体罰、暴言、不適切な指導・個人情報漏洩等）をゼロとする。

3 目指す学校像

本校の教育目標の実現のために、次のような「目指す学校像」を掲げる。

目指す学校像

- あらゆる他者の人権を尊重し、自他を大切に協働できる生徒を育成する学校
- 未来は自分の力で想像できると信じ、目標の実現に努力する生徒を育成する学校
- 心身の大切さを自覚し、健康的な生活を送る生徒を育成する学校

関中学校は、令和3年度、開校47年を迎える。平成30年度より「練馬区・学校地域連携事業」をスタートさせている。この事業を活用しつつ、かつ、人権尊重を重視し、地域・保護者・生徒からより一層信頼される学校を目指す。かつ、関中学校は、生徒にとって「学びの場」であり「成長する場」であることを教職員が自覚し、学校として保証することが大切である。



令和3年度 スローガン

- 生徒にとって「学びの場」「成長する場」を保証する学校であること

4 中期的目標と方策

(1) 教育環境の整備

- ① 最大の教育環境は教師
- ② 居場所のある学校（互いに尊重し認め合える環境）
- ③ 生徒が主体となって活動できる環境
- ④ 様々な配慮が行き届いた環境

(2) 保護者・地域等との連携のさらなる推進

- ① 地域およびPTAとの連携を強化
- ② 具体的な情報発信を適切に行い、保護者との信頼関係の深化
- ③ 学級経営における、保護者への日常の子どもの姿（向上・努力・課題・出来事等）の正確な情報伝達
- ④ 学校評議員による学校関係者評価を活用した学校改善
- ⑤ 学校支援コーディネータとの連携に基づく、地域の力を活用した学校運営の推進

(3) 学校組織の活性化

- ① 校内分掌および校務内容の明確化
- ② 教育目標の実現に向かって全教職員共通理解に基づく教育活動の推進
- ③ 教職員が、個性と特性を活かしながら共通の価値ある目標実現に向けた実践努力
- ④ 教職員一人一人が、高い経営参画意識を有して臨む、学校運営

(4) 新学習指導要領の円滑な導入

- ① 「目標設定→計画→実行→途中結果→振り返り（変更・継続）→結果」を各教科、総合的な学習の時間、行事、部活動などあらゆる教育活動の場における実践
- ② 思考・判断の基礎となる知識の各教科における定着指導

(5) 専門性の向上

- ① 教職員の専門性を高めるために様々な研究会・研修会への参加
- ② 生徒と共に常に学び続ける教師として、教育分野に限らない幅広い知見の習得

(6) 学校予算の適正な編成と執行

- ① 私費会計での購入においては、必要性・使用頻度などを学年、教科での入念な検討してからの購入計画作成
- ② 購入後の迅速な会計処理及び会計処理状況の監査及び管理職による毎月の点検